

すま 1月

2019(平成31年)



年賀状を送ってほしいぼう!

あけましておめでとうございます! ぼくへの年賀状を送ってもらえると嬉しいな♪
 送り先はこちら↓
 〒654-8570(住所不要)
 須磨区役所 すまぼう宛



須磨の日の出を見に行こう

須磨海岸

言わずと知れた白砂青松の地、須磨海岸。ヤシの木と海辺を照らす朝日は、写真映え間違いなし! 海風を感じながら日の出を待つのもよいかもしれません。



須磨浦公園

山陽電鉄「須磨浦公園」駅から西へ徒歩5分。海が見渡せるところで日の出を見ることができます。

神戸総合運動公園

公園の東端、小高い丘の上にある「冒険のくに」がおすすめの日の出スポット。山の後ろから現れる日の出が、須磨の町を照らす様子を見ることができます。



**須磨の日の出
こぼれ話**

～須磨の「夜明け」

夜明けは歴史のはじまり。須磨と云えば「源平一の谷合戦・義経坂落とし」の地だ。1184年2月7日の夜明け前、義経は多井畑を経て鉄拐山南斜面へ。そこで夜明けをじっと待つ。あと僅かで東の空が白み始める頃、眼下では熊谷直実父子先陣の戦い。やがて「今だ、鹿の通り路は馬の馬場ぞ。義経を手本にせよ」との号令。朝日を浴びながら降る一群。それは平家敗走への決定的瞬間だ。そして伝統的な貴族社会から武士による新時代への幕開けでもあった。まさに新しい歴史のはじまり「夜明け」だ。

NPO法人須磨歴史倶楽部 西海 淳二



須磨区歴史講演会

明治150年記念講演『鈴木商店と須磨』

無料
先着300人
要事前申込

日時 2月10日(日) 13:30～15:00

場所 区役所4階多目的会議室

講演者 小宮 由次氏(鈴木商店記念館編集副委員長)

申込方法 ①または市イベント申込ポータルサイト

KOBE TODAY 検索

申込期間 平成31年1月7日(月)～31日(木)



鈴木商店について

開港間もない明治7(1874)年に、神戸で洋糖引取商として創業。樟脳事業への進出を機に大きく飛躍し、80社をこえる一大コンツェルンを形成。大正期には日本一の年商を誇った。一方で、あまりの急成長ぶりに妬みを買ひ、米騒動の際には米の買占めを噂され、本店が焼き打ちにあう。その後も昭和恐慌、関東大震災が苦境に拍車をかけ、昭和2(1927)年、破綻。女主人鈴木よねと大番頭金子直吉は須磨に邸宅を構えるなど、須磨とのゆかりも深い。



鈴木商店本店

区市イベント案内・申込センター(年中無休9:00～21:00) ☎333-3372 FAX 333-3314

